

2024年10月31日
イオン株式会社

イオン株式会社と京成電鉄株式会社の資本業務提携合意のお知らせ

イオンと京成電鉄株式会社（以下：京成電鉄）は、両社の持つアセットとノウハウを生かし、地域の暮らしをより豊かにするため、業務提携に合意しました。両社の安定した信頼関係を構築するため、相互に株式を保有する形での資本提携が必要であるとの判断から、本日、本提携契約を締結いたしました。

1. 本提携の目的及び理由

イオンは、京成電鉄の路線がある東京都東部から千葉・成田にかけての地域内には657拠点を数え、小売事業をはじめとして、サービス事業、ディベロッパー事業、金融事業などの様々な事業を展開しています。

京成電鉄は、「総合生活企業グループ」として、鉄道・バスなどの運輸業をはじめとして、流通業、不動産業、レジャー・サービス業、建設業などの事業を展開しています。

このような地域において、イオンは、これまでの商業施設運営のノウハウを最大限に活かし、京成電鉄の保有不動産への出店を行い、地域住民にとってより良い環境構築と地域貢献に尽くしてまいります。京成電鉄は、「活力が持続するまちづくりの推進」に向け、保有資産のリニューアル・再開発等を通じた沿線活性化に取り組んでまいります。

両社は、ともに千葉県に本社を置き、かつ、同じ地域の生活者に対して異なる社会インフラを提供する企業であることから、お互いの持つアセットとノウハウを掛け合わせるにより、地域に合わせた街づくりを通じて、地域の活性化に貢献することが可能です。商業施設は、単なる買い物の場としてお客さまの日常の利便性を向上させるだけではなく、文化や娯楽を提供する場、地域社会のコミュニティ形成の場、地域に雇用と経済効果を生み出す場であり、外部地域からの観光の場ともなります。そのような商業施設に京成電鉄の持つ鉄道、バス、タクシーなどの運輸業、ホテル、レジャー・サービス業などを組み合わせることにより、地域の魅力をより広く多くの方々に発信していきます。

今後も両社のシナジーを最大限活用することで街の賑わい創出に取り組み、地域の生活者の暮らしをより豊かにすることに貢献してまいります。

2. 本提携の内容

（1）業務提携の内容

＜ア＞：業務提携の項目

本提携契約において、イオン及び京成電鉄が合意している業務提携の項目は以下のとおりです。なお、具体的な実施内容・時期などの詳細については、今後両社で協議し決定してまいります。

① 開発及び不動産事業における共同取り組み

- ・イオングループ及び京成電鉄は保有する不動産情報を共有し、イオングループ各事業による出店を含めた街づくりや共同取り組みも検討する。
- ・両社による商業施設・駅ナカ等の共同開発・運営（リーシングなど）

② その他両社が協議する取り組み

a. 小売事業

- ・イオンは、京成グループの株式会社京成ストアと協業し、地域のお客さまに対して、品揃えやサービスのさらなる拡充などで店舗の魅力を引き上げることによって貢献してまいります。

b. 交通事業

- ・イオングループの既存・新規商業施設における更なる利便性向上に向けた交通サービスの充実について両社で協議してまいります。

c. 金融事業

- ・イオンの持つ決済手段・ポイントなどを京成グループのサービスと連携することにより、本提携によるメリットをお客さまにご提供できる取り組みを検討してまいります。

d. 両社グループの施設価値向上

- ・両社の施設の相互利用を目的として、両社のアセット・媒体を活用したプロモーション・イベントを実施いたします。

【本提携における第一弾の取り組み】

両社による第一弾の取り組みとして、新津田沼駅周辺の再整備による新たなランドマーク化を計画しております。新京成電鉄株式会社が保有する新津田沼駅南側に隣接する「津田沼12番街ビル」を中心とした駅周辺施設を京成グループが改修と刷新を行い、同駅北側に隣接し現在営業中のイオンモール津田沼とともに、イオンリテール株式会社が一体的に運営することでバリューアップを行います。新たな出発と、新津田沼駅を中心にしたお客さまが回遊する新たな交流拠点と再生の象徴となるランドマークとして再整備し、ウォーカブルな街づくりの中心施設として、魅力ある街づくりに貢献してまいります。

新津田沼駅を中心に2棟を一体運営し、それぞれの棟の役割を明確にすることにより10代から30代のMZ世代からファミリー層、シニア層まで幅広くご支持いただける商業施設とする予定です。新たな商業施設では、こだわりの食品をはじめとした日常に必要な商品やサービスを取り揃えることに加え、ご家族やご友人と集える場所としてのレストランスペースやライブ会場としても使えるイベントホール、イオンシネマによるエンターテインメント機能なども兼ね備えた施設とする構想です。2棟が連携し暮らしに熟達した店を集積することによってエリアの核となる商業をつくり上げ、津田沼の新たなランドマークとして地域に貢献するステージへと再整備することで、イオンと京成電鉄は街づくりに貢献してまいります。

<新津田沼駅周辺のMAP>

